

【広東省・広州市・深圳市週報】

7月25日～7月31日

1. 広東省

1. 人事異動

- 省党委員会の討議を経て、譚君鉄・梅州市長が梅州市党書記、温湛浜・清遠市ハイテク産業開発区党工書記が陽江市長に就任することが決まった（7月26日付『南方日報』）。
- 28日午前、肇慶市指導幹部大会で、陳旭東・税関総署政策法規司司長が肇慶市長候補に（7月29日付『広州日報』）。

2. スマート製造に関する動向

- 23日、30社以上のメディアが東莞市東城エリアのスマート製造モデル地区を見学。24日、辛国斌・工業・情報化部副部長主宰の全国スマート製造モデル地区体験交流会、並びにスマート製造設備現場体験交流会が東莞市で開催され、苗圩・工業・情報化部長、周濟・中国工程院院長、朱小丹・省長、袁宝成・副省長が出席。現在、広東省・市で10のスマート製造モデル拠点を建設中であり、11のスマート製造のモデルプロジェクトが工業・情報化部の審査を通過。中でも、東莞市と仏山市順徳区は、工業・情報化部から「情報化と工業化の融合を深め、スマート製造を試みる拠点」とされている。2015年、広東省全体のスマート製造による生産総額は8,400億元に達した（7月25日付『南方日報』）。
- 24日午前、省政府と中国工程院が産学協力の深化・推進に関する協定に署名し、東莞市で「東莞製造2025」計画の成果発表会を開催。周濟・中国工程院院長、苗圩・工業・情報化部長、朱小丹・省長、辛国斌・工業・情報化部副部長が署名式、成果発表会に出席（7月25日付『南方日報』）。

3. 省“八一”慰問グループが南部戦区空軍部隊を慰問

- 25日午前、中国人民解放軍89周年を記念し、胡春華・省党書記率いる上記グループが南部戦区空軍部隊を慰問し、“八一”慰問大会に出席。慰問中、武器装備デモンストレーション、部隊の荣誉展示室、兵舎を見学し、慰問金及び慰問品を贈呈（7月26日付『南方日報』）。
- 26日、省党委員会・省政府が“八一”慰問メッセージを送った（7月26日付『南方日報』）。

4. 朱小丹・省長が2016年省長による専門家との座談会に出席

- 25日、朱小丹・省長主宰の上記座談会では、副省長7人（徐少華、許瑞生、鄧海光、李春生、何忠友、藍仏安、袁宝成）、省党組織メンバー（招玉芳、陳雲賢）、周濟・中国工程院院長、隆国強・國務院発展研究センター副主任、羅俊・中山大学総長、王春法・中国科学技術協会党組織メンバー、白重恩・清華大学経済学部管理学部副学部長、黄衛偉・ファーウェイ技術有限公司上級管理顧問が、「広東省のイノベーションに基づく経済システム・発展モデル」をテーマに検討し、多くの提案を行なった（7月26日付『南方日報』）。

5. 省の供給構造改革業務にかかる視察

- 26日、本年初めの全省供給構造改革に関する業務会議の段取りに基づき、朱小丹・省長、徐少華・副省長、何忠友・副省長、袁宝成・副省長がそれぞれ珠江デルタ地域、省東部、西部、北部を訪れ、業務状況を視察（7月27日付『南方日報』）。

6. 広東自貿区の建設に関する指導グループ第4回会議の開催

- 27日午前、徐少華・副省長主宰の上記会議が開催され、本年上半期の業務について総括。朱小丹・省長、何忠友・副省長、招玉芳・省党組織メンバー等が出席。朱省長は国際的な高い水準の投資・貿易ルールとリンクさせ、制度上の刷新を深めていくよう強調（7月28日付『南方日報』）。

7. “八一”慰問活動

- 27日午後、朱小丹・省長が省公安・消防団特別勤務隊を慰問（7月28日付『南方日報』）。
- 27日午前、黄龍雲・省人代常務委員会主任が92510部隊（湛江市の海軍）を慰問（7月28日付『南方日報』）。

日報』)。

● 27日午前、王栄・省政協主席が75411部隊(珠海市)を慰問(7月28日付『南方日報』)。

● 27日晚、広州市で省政協の歴代委員による親睦会が“八一”座談会を開催し、王栄・省政協主席、林木声・省政協副主席が出席(7月28日付『南方日報』)。

● 省の指導者が第5団(馬興瑞)、第6団(黄先耀・何忠友)、第7団(李玉妹・袁宝成)、第8団(林雄・招玉芳)、第9団(徐少華・陳雲賢)、第10団(任学鋒・許瑞生)、第11団(慎海雄)に分かれ、それぞれ省辺境防衛団第6分隊、武警、96169部隊(梅州市、砲兵部隊)、75215部隊(惠州市)、省武警団第2分隊、省第1米軍委員、公安辺境防衛部隊高等専門学校を慰問(7月30日付『南方日報』)。

8. 27日午前、朱小丹・省長がキルギス・ジャラルバード州知事一行と会談(7月28日付『南方日報』)。

9. 省党常務委員会議の開催

● 28日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「“12・20”深圳市光明新区における土砂崩れ事故終結にかかる国家安全監督管理総局の通知」を通達。胡書記は、安全な生産と都市の公共安全に関する業務を強化するよう強調(7月29日付『南方日報』)。

10. 安全な生産及び都市運営・安全管理に関する全省テレビ電話会議の開催

● 28日午前、袁宝成・副省長主宰の上記会議で、習近平・総書記が中央政治局常務委員会議で述べた安全な生産に関する重要講話、李克強・総理の関連重要講話について深く学習・貫徹。朱小丹・省長等が出席(7月29日付『南方日報』)。

11. 省人代常務委員会議が閉幕

● 28日午前、省12期人代常務委員会第27回会議が閉幕し、「広東省市場監督管理条例」を採択。併せて、黄強・梅州市党書記が省民族宗教事務委员会主任、黄漢標・省人力資源・社会保障庁党組書記が同庁長、李静・省交通運輸庁党組書記が同庁長にそれぞれ就任(7月29日付『南方日報』)。

12. 29日午前、朱小丹・省長が北京で開催された全国双擁模範都市(県)命名・表彰大会に出席(7月30日付『南方日報』)。

※双擁(「擁軍優属、擁政愛民」): 中国人民解放军を擁護し、軍人の家族を優遇する。政府を擁護し、国民を愛護する。

13. 省僑務弁公室が座談会を開催

● 29日、「広東省華僑權益保護条例」1周年の座談会を開催し、広く華僑・華人の意見を聴取。劉悦倫・省人代常務委員会副主任が出席(7月30日付『南方日報』)。

14. 29日、何忠友・副省長がマカオで開催された「2016年広東・マカオ名品展」に出席し挨拶(7月30日付『南方日報』)。

15. 省党11期第7回全体会議の開催

● 30日に開催された上記会議の主要任務は、習近平・総書記の一連の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、供給構造改革を経済・社会発展の根本的な戦略として検討・業務手配を進め、全省を動員して、経済業務の重心を供給サイドに移し、広東省が構造調整や産業の転換・高度化の先頭を切り、更に高いレベルの発展を実現させることであった(7月31日付『南方日報』)。

II. 広州市

1. 市政府常務会議の開催

● 25日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、習近平・総書記が安全な生産に関する業務の強化について述べた重要講話の精神、安全な生産に関する全国・全省テレビ電話会議の精神を伝達。併せて、統一的な行政サービス、広州市所属国有企業のイノベーションに基づく発展等について審議し採択(7月26日付『広州日報』)。

2. “八一”慰問活動

- 26日午後、温国輝・市長率いる“八一”慰問グループ第2団が広州軍区善後策弁公室を慰問（7月27日付『広州日報』）。
- 28日午前、陳建華・市人代常務委員会主任率いる第3団が南部戦区空軍を慰問（7月29日付『広州日報』）。
- 28日午前、蘇志佳・市政協主席率いる慰問団が広東省軍区を慰問。王世彤・市組織部長、蔡朝林・副市長等も同行（7月29日付『広州日報』）。

3. 市党常務委員会議の開催

- 27日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、中央の東西部貧困救済協力座談会の精神を伝達・学習。併せて、習近平・総書記の水害防止・災害救助業務に関する重要講話の精神、中央が発表した「中国共産党責任追及条例」の精神も伝達・学習し、着実に業務を貫徹（7月28日付『広州日報』）。

4. 改革の全面深化に関する市党指導グループ会議の開催

- 27日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、中央・省それぞれの改革の全面深化に関する会議の精神を伝達・学習。経済制度やエコ文明に向けた体制改革に関する業務状況について聴取（7月28日付『広州日報』）。

5. 第14回市人代常務委員会第54回会議の開催

- 26日～27日にかけて、陳建華・市人代常務委員会主任主宰の全体会議で、温国輝・市長が上半期の業務状況、下半期の業務手配について報告（7月28日付『広州日報』）。

6. 2016年広州市・仏山市一体化に関する党・政府連絡会議の開催

- 29日、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、任学鋒・広州市党書記、魯毅・仏山市党書記、朱偉・仏山市市長が出席。広州市側の責任者が「十二・五計画」期間の業務を総括し、「十三・五計画」期間の方針について報告。仏山氏側の責任者が本年度の重点業務における上半期の実施状況について報告（7月30日付『広州日報』）。

7. 2016年経済発展協商座談会の開催

- 29日、任学鋒・市党書記が上記座談会に出席し講話。温国輝・市長が上半期の経済動向について報告。蘇志佳・市政協主席が主宰（7月30日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 市党理論学習中心チーム拡大学習会の開催

- 25日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記学習会で、李国喜・中国延安幹部学院常務副院長が「党章を学び、党規約を学ぶ」と題したガイダンスを行なった（7月26日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記が東海航空公司を視察

- 25日、上記視察で馬興瑞・市党書記は、深圳市の民用航空の競争力を向上させ、現代国際イノベーション・シティの建設を急ぐための、強力な支柱が必要だと強調（7月26日付『深圳特区報』）。

※東海航空：深圳宝安空港を拠点とする民間貨物空輸会社。

3. 馬興瑞・市党書記が光明新区を視察

- 26日午前、上記視察で馬興瑞・市党書記は、「五大発展理念」を堅持し、市党委員会・市政府の手配・要求に基づき、顕在化した問題をおろそかにせず、厳格にしっかりと同新区建設の新たな局面を切り開いていくよう強調（7月27日付『深圳特区報』）。

4. 馬興瑞・市党書記が海洋産業を視察

- 26日午後、上記視察で馬興瑞・市党書記は、深圳市は海洋科学技術の研究開発を強化し、海洋設備の製造力を向上させ、海洋経済のイノベーションに基づく発展を推進し、海洋強国建設に貢献していかなければならない

と強調（7月27日付『深圳特区報』）。

5. 許勤・市長一行が新疆ウイグル自治区、青海省を視察

●22日～25日にかけて、許勤・市長率いる市政府代表団が新疆ウイグル自治区カシュガル市を訪れ、ペアリング支援状況を視察（7月27日付『深圳特区報』）。

●26日、新疆ウイグル自治区の視察後、許勤・市長一行は青海省海東市を訪れ、海吉星輸入農産物の集配センターを視察し、王国生・青海省党書記と会談（7月27日付『深圳特区報』）。

※海吉星：深圳市の農産物商社。

6. 市政府常務会議の開催

●27日午後、許勤・市長主宰の上記会議で、「深圳市固形廃棄物汚染予防アクション・プラン（2016～2020年）」について審議し採択（7月28日付『深圳特区報』）。

7. 安全な生産及び都市運営・安全管理に関する全省テレビ電話会議深圳分科会の開催

●28日午前、上記分科会で許勤・市長は、都市の安全指数を高め、セーフティーな環境をしっかりと構築していかなければならないと強調（7月29日付『深圳特区報』）。

8. 市党常務委員会議の開催

●29日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、「中国共産党責任追究条例」について学習し、深圳市が貫徹・実施するための意見を検討（7月30日付『深圳特区報』）。

9. 改革の全面深化に関する市党指導グループ会議の開催

●29日午前、上記会議で馬興瑞・市党書記は、権限を十分に移譲し管理を行き届かせることで、「強区放権」を推進し、できるだけ早くより一層の実質的な成果を得るよう強調（7月30日付『深圳特区報』）。

10. 市政府と香港世茂集団が枠組み協定に署名

●29日晚、市政府と香港世茂集団（不動産ディベロッパー）が枠組み協定に署名し、併せて龍崗区政府も同様の協定に署名。馬興瑞・市党書記、許勤・市長、許榮茂・世茂集団董事局主席等が署名式に出席（7月30日付『深圳特区報』）。